## JTB　広域代表からのメッセージ

# インバウンド拡大は好機

JTB旅ホ連特集

### 西日本

## 万博を契機に成長産業へ

執行役員 ツーリズム事業本部 西日本エリア広域代表
大阪IR推進担当
大阪・関西万博推進担当
**北村 豪**

世界158の国と地域、七つの国際機関が参加する大阪・関西万博が開幕した。開幕前は盛り上がりに欠けていた感もあるが、いざ開幕するとやはり世界最大級のお祭りであり、連日国内外からの多くの観光客でにぎわい、盛り上がりを見せている。

世界最大の木造建築としてギネス認定された大屋根リングから見る景色は、世界とつながる「海」と「空」が印象強く感じられるデザインであることを実感できる絶景であり、リングの内側にある世界各国のパビリオンを見ると、世界は多様であるが一つであるというメッセージがしっかり伝わってくるものだ。

そして、見どころが豊富で1日では回りきれず、何回も訪問したいと感じてもらえるものになっている。

JTBでは大阪・関西万博をツーリズム産業躍進の絶好の機会と捉えて、大阪・関西万博を訪れる人流の最大化、そして日本各地域への周遊促進を図るため、さまざまな取り組みを進めてきた。

特に大阪・関西万博に来場された方々の地域への周遊促進として、大阪・関西万博公式観光サイトでの地域の魅力発信と販売、「万博からの旅」を設定し販売に努めている。

4月から関西空港の発着枠が拡大されたことに加え、神戸空港も国際線チャーター便の運用が開始された。2030年にはIRも開業することから、関西はますます国内外から多くの観光客が来訪し、国際的な地域になることは間違いない。このような追い風を生かして、国内外から多くの観光客を誘客できるよう人流を創造していきたい。

関西・西日本エリアには、まだ知られていない魅力的な観光資源（タカラ）が多数存在する。人気観光地に一点集中させず、地域のタカラをつなぐ「面」で地域を磨き上げることで、さらなる誘客促進と一部観光地における混雑緩和を両輪で推進したい。

旅ホ連西日本支部連合会の皆さまとはこれまで以上にコミュニケーションを図り、宿泊券の増売につなげるべく、観光が地域の持続可能な発展に貢献することを示していきたい。

### 中国

## 新時代の観光戦略構築

ツーリズム事業本部 中国エリア広域代表
兼広島支店長
**濱口 剛**

平時に戻り本格的な旅行・宿泊需要が回復途上の中、近隣では国内最大のイベントである大阪・関西万博が開幕、それに続くように岡山・香川の島々を舞台にした瀬戸内国際芸術祭2025、5月には第20回世界バラ会議が福山の地で初開催され、被爆80周年を迎える広島では8月6日の平和記念日に向けて各種事業が計画されており、さまざまな行事が目白押しの1年がスタートした。この好機を宿泊増売につなげるべく地域の宿泊事業者と連携し、さまざまな準備を施し行ってきた。

一方でポストコロナの象徴としてさまざまなニューノーマルが定着してきた昨今、中国エリアにおける観光戦略も過渡期を迎えており、柔軟に対応していくことが求められている。

各地域の特色ある宿泊施設との連携を深め、体験型プログラムの造成や多言語対応の強化を支援。また、広域周遊ルートの開発により、1地点にとどまらないエリア全体への回遊促進により宿泊者数増加を図っているところだ。

さらに、持続可能な観光の実現に向け産官学連携を強化。地域の高校生による観光企画コンテストの優秀プランを商品化するなど、若い世代の視点を取り入れたサステナブル・ツーリズムも推進している。中国エリアの豊かな自然と文化を生かしつつ、地域社会との共創を通じて世界に誇れる持続可能な観光地域づくりを目指す。

また、現在注力している取り組みとして、中国エリアの各空港、自治体、旅行各社とともに、地方空港の国際線定期便就航に向けた双方向チャーターを実施している。特にタイ、ベトナム、香港、台湾を重点市場とし積極的に展開。地方空港への定期便就航を実現させることによりダイレクトにアクセスする機会が増加し、中国エリアの魅力が世界に一気に広まることで宿泊者数はもちろん、消費額の上昇、そして地域活性化につながると確信している。

当社は世界と地域をつなぐ架け橋として、これからも地域の魅力発信と誘客促進に全力で取り組んでいく所存である。

### 四国

## DXで観光産業の発展を

ツーリズム事業本部 四国エリア広域代表
兼高松支店長
**濵田 充**

四国4県は、独自の魅力と観光資源を生かし、地域誘客に向けた多様な取り組みを展開している。

香川県では、この春、1万人収容の西日本最大級の香川県立アリーナが開館した。この多目的施設は新たな観光スポットとして期待されている。

また、伝統芸能の分野では、第38回四国こんぴら歌舞伎大芝居が開催され、地域の文化的魅力を発信している。

さらに、3年に1度開催される瀬戸内国際芸術祭は、島々を舞台にアートと地域の融合を図り、国内外から多くの観光客を引き付けている。

高知県では、2025年上半期のNHK連続テレビ小説「あんぱん」の放送が話題だ。ドラマを通じ高知の風景や文化が全国に紹介され、観光客の増加が期待されている。

徳島県の阿波踊りは、ゴールデンウイーク中に大阪・関西万博会場で披露された。「大屋根リング」をシンボルに、世界中の人々をつなぐ「輪」をコンセプトとし、多様な踊りの輪を生み出した。この機会は徳島の伝統文化を国内外にアピールする絶好の場となった。

愛媛県松山市は、JTBと地域包括連携協定を締結した。観光DXによる地域活性化や交流人口・関係人口の拡大を目指し、この分野でのショーケースとなり、新たな観光モデルとして注目されている。

四国4県は、これらの取り組みを通じて地域特性を生かした観光振興を図っている。自然、文化、芸術、テクノロジーなど、多様な要素を組み合わせ、四国全体の魅力を高めている。持続可能な観光開発にも注力し、地域の自然環境や文化を守りながら観光産業の発展を目指す。

地域住民と観光客の交流を促進し、真の「おせったい（おもてなし）」を実現することで、リピーターの増加を図る。四国は、多様性と独自性を強みとし、日本を代表する観光地域としてさらなる飛躍を遂げる準備が整っている。

今後も積極的な情報発信と観光振興策を展開し、四国の魅力を国内外に広めていく所存だ。

### 九州

## 「九州ならでは」で誘客

執行役員 ツーリズム事業本部
九州エリア広域代表
**篠崎 和敏**

2025年度の九州は、国際線定期便就航が全域の多種多様な交通機関の情報や予約機能をワンストップで提供する「九州MaaS」が昨年よりサービスを開始し、徐々に訪日客に浸透してきている。そこに福岡支店運営の体験サイト「EnjoyKyushu」もリンクし、高付加価値な体験を提供している。

また、昨年度終盤から、通事業者が参画し、九州2019年比で増加している。福岡空港は125%、熊本空港は300%とコロナ前より大きく伸び、特に東・東南アジアからの就航が増えている。今年度は昨年度実績の500万人以上の訪日客数となると予測され、アジアからの玄関口としての役割が増している。

九州7県の自治体・交

また、昨年立ち上がった「西のゴールデンルート」も大阪・関西万博の開催で盛り上がってきている。

これらは九州を来訪されるお客さまの旅をもっとスムーズにすること、そして旅の思い出を彩ることに貢献している。

国内では、大分県・宇佐神宮勅祭・御鎮座1300年奉祝行事という歴史的な記念行事や四季を通じて既存のものにプラスして新しいイベントも開催されている。

特に10年前より始まった福岡市で開催されている「クリスマスアドベント」は、九州の冬の風物詩として定着し、多くのお客さまが来訪している。

福岡をはじめ九州各地において、新規ビジネスホテルやデザイナーズホテル、ラグジュアリークラスのホテルが相次いで開業しており、これも新たな九州への来訪者を呼び込む要素となっている。

これらの状況から、2025年度の九州の観光業界は、需要増加と供給拡大、それに交通インフラ整備が同時並行で進む「拡大期」の入り口にある。それらを弊社の機会と捉え、九州を訪問する理由（体験やイベント）の創出に取り組み、併せて宿泊施設・観光施設の課題を解決できるソリューションを提供して、拡大する需要を取り込み、九州初心者はもちろんのこと、国内外のリピーター拡大に取り組み、九州を盛り上げていく。

### 沖縄

## 沖縄の魅力は無限大

沖縄JTB 代表取締役 社長執行役員
**桂原 耕一**

2024年度の沖縄観光は、コロナ禍からの力強い回復を示した。入域者数は過去2番目となる995万人超を記録し、国内需要は過去最高を更新。世界経済の見通しに不透明感は残るものの、訪日インバウンド需要は海外航空路線の復便、クルーズ船寄港の増加、円安効果などにより、今年度もさらなる回復が期待される。

2025年7月、沖縄本島北部に新テーマパーク「JUNGLIA」がオープンする予定である。「沖縄美ら海水族館」や周辺観光施設との相乗効果で、観光の新たなけん引役となることが期待される。当社も北部エリアでの事業展開を加速し、周遊券や共通券の拡充などで、地域分散型観光の促進に注力する。

また、今年度下期からは、JTBの国内旅行キャンペーン「日本の旬 沖縄」が開催される。

「沖縄の魅力は無限大、住む人も訪れる人も共に輝ける島・沖縄」をキャッチコピーに、沖縄の魅力を再発掘したコンテンツを全世界に発信し、地域活性化に貢献していく。

一方で、人手不足、2次交通、オーバーツーリズムなどの構造的課題は看過できない。当社はDXの活用や県内観光事業者との連携を通じて解決を図る。またアドベンチャーツーリズムなどの新たな旅のスタイルの推進にも注力する。

グローバル競争力強化には、サステナブルな観光地づくりが不可欠だ。当社は昨年、沖縄県から「おきなわSDGsプラチナパートナー」の認証を受けた。今年度は「おきなわSDGsアクションプラン」達成に向け、経済・環境・社会・ガバナンス・地域貢献の各分野で具体的な施策を展開中だ。

これからの沖縄観光の持続的成長には、需要喚起と地域住民との共生の両立が求められる。当社は革新的なサービスの提供と地域との協働を通じ、観光産業の発展と地域社会の繁栄に貢献することを経営理念に掲げる。観光を通じた価値創造と社会課題解決の好循環を生み出し、沖縄の未来を共に築いていく企業を目指す。

2025年度
全国の取り組み
JTB

先人たちが誠の心で、ひとつひとつ大切に結んだご縁。
皆様とともに未来へと紡いでまいります。

季節の心、伝えたい。
城西館
〒780-0901 高知市上町2丁目5-34
TEL.088-875-0111
城西館　検索
城西館HPはこちらから

ここにしかない富士がある。　富士山を望む河口湖畔の宿 秀峰閣湖月

秀峰閣 湖月 SHUHOUKAKU KOGETSU
〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口2313
TEL. 0555-76-8888　FAX. 0555-76-8940
http://www.kogetu.com/

世界遺産
「明治日本の産業革命遺産」

萩城下町　松下村塾　恵美須ヶ鼻造船所跡　萩反射炉

毛利三六万石の城下町、長州・萩。
萩城からほど近い、かつて城を守る重臣たちが居を構えた萩城三の丸、毛利屋敷跡に、北門屋敷はあります。
江戸時代からほとんど変わらない町割りと、維新前夜の面影が色濃く残る場所。武家屋敷の風格と凛とした空気に往時の息づかいが感じられます。
国の重要伝統的建造物群保存地区、そして世界遺産「萩城下町・旧上級武家地」であるこの場所に許された、唯一の旅館。
ようこそ北門屋敷へ。

当館表門前にも石碑がございます。

世界遺産「萩城下町」の宿
萩城三の丸 北門屋敷
〒758－0057 山口県萩市掘内 210-12
TEL0838－22－7521　FAX0838－25－8144
http://www.hokumon.co.jp

和邸専用展望風呂
「天空」

白浜時間の中心地
私たちは、お客様に一生思い出に残る「白浜時間」をお届けします。

紀州・白浜温泉
むさし
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町868
TEL.0739(43)0634　FAX.0739(82)2020
予約専用電話 0739(33)7076
http://www.yado-musashi.co.jp